



いまある“価値”を次代へ!

株式会社 **ナカボーテック**



2025年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社ナカボーテック
代表者名 代表取締役社長 木 村 浩
(コード番号：1787 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員 総務部長 浅木 直嗣
TEL 03-5541-5801
soumuir@nakabohtec.co.jp

「23 中計」進捗報告 — 2024 年度決算および 2025 年度見通し —

当社は、『「23 中計」進捗報告 — 2024 年度決算および 2025 年度見通し —』を下記の通り取り纏めましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画の名称 23 中計
2. 期間 2023 年 4 月～2026 年 3 月
3. 概要 添付『「23 中計」進捗報告 — 2024 年度決算および 2025 年度見通し —』をご参照ください。

◇ 添付資料

「23 中計」進捗報告 — 2024 年度決算および 2025 年度見通し —

以上

「23中計」進捗報告

－ 2024年度決算および2025年度見通し －

2025年5月8日

株式会社ナカボーテック

2024年度決算及び中計進捗総括

- ¶ 2024年度売上高は14,726百万円（「23中計」2024年度計画に対し5.9%の増収）、経常利益は1,502百万円（同45.7%の増益）となりました。

（百万円）

	「23中計」2024年度計画	2024年度決算	差異
受注高	13,900	14,915	+1,015（+7.3%）
売上高	13,900	14,726	+826（+5.9%）
経常利益	1,031	1,502	+471（+45.7%）
当期純利益	722	1,047	+325（+45.0%）

- ¶ 2025年度は、売上高14,500百万円、経常利益1,318百万円と、概ね「23中計」で計画した水準の売上高、「23中計」をやや上回る経常利益を見込んでおります。
- ¶ ESGへの取り組みでは、「内部ステークホルダーのエンゲージメント向上」に資する仕組み・デジタルツールの大規模導入を進めると共に、ホームページや作業用ユニフォームのリニューアルなど、働き易さと企業価値の向上に取り組まれました。また、「気候変動リスクへの対応」につきましては、サステナビリティ推進チームを発足し、TCFDに準拠した対応を開始しました。

事業環境変化と2025年度見通し

- 事業環境に「23中計」策定時からの大きな変化は認められず、今後も港湾事業を中心に堅調に推移するものと予想しております。従いまして、各事業の「23中計」における取り組みの方向性に変更はございません。
- 「23中計」の位置付けについても、策定時と変わらず「事業基盤整備の期間」として取り組んでまいります。
- 2025年度につきましては、官公庁の大型予算案件の順調な出件と民間企業の設備保全工事等の多数受注により見込みを大幅に上回る結果となった2024年度の反動を受けて、2024年度実績を若干下回るものの、「23中計」2025年度計画に対しては売上高で同水準、経常利益では若干の増益となることを見込んでおります。
- 現時点で、2030年度目標の売上高・経常利益は「23中計」策定時から据え置くこととしております。

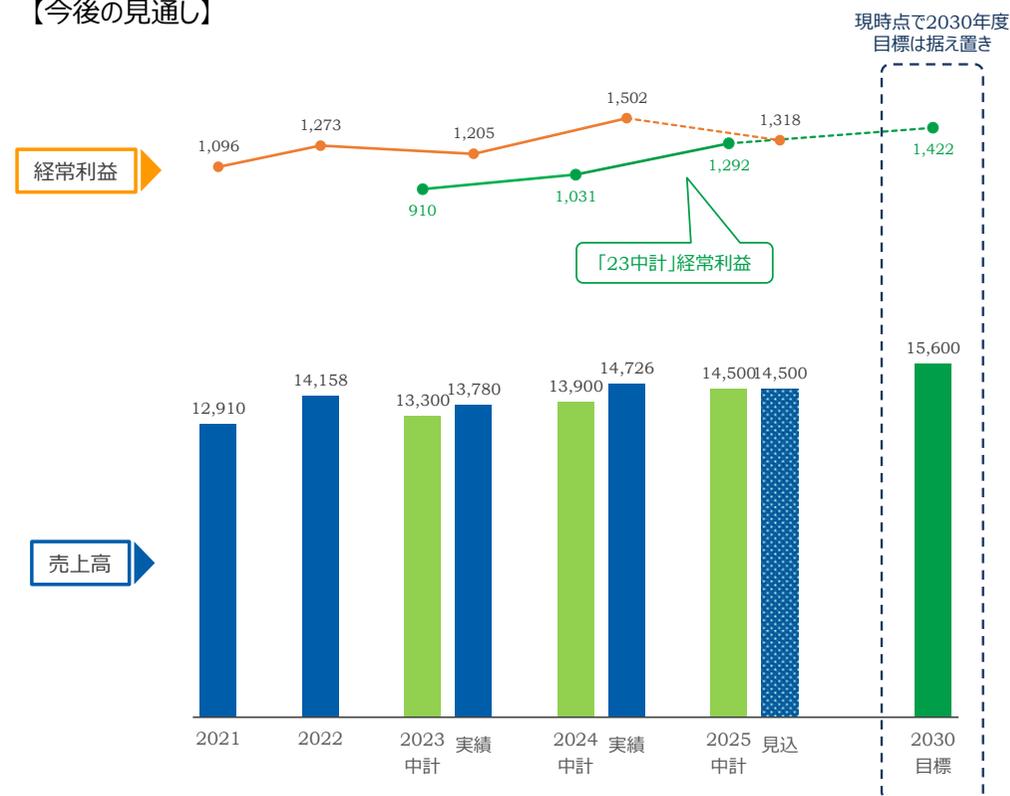
【事業環境と取り組み】：大きな環境変化はなく、取り組み内容も変更なし

事業	事業環境見通し	「23中計」における取り組み
港湾事業 港湾RC事業	<ul style="list-style-type: none"> 未防食、或いは、更新時期を迎える要防食施設は国内に相当数存在する CNP、洋上風力発電施設基地港、防衛関連施設整備などの新規需要により、市場規模は拡大する 港湾RC施設は、塩害による劣化がより顕在化してくる 	<ul style="list-style-type: none"> 施設それぞれに対する最適な防食工法の提案を行い、事業規模の拡大を図る 新規需要への参入に向けた営業・提案活動に注力する
地中事業	<ul style="list-style-type: none"> 埋設管の新設工事は減少状態にある 市場は調査点検と更新工事を中心とする 	<ul style="list-style-type: none"> 調査点検業務の省人化を図る技術の導入を加速し、収益力を強化する
陸上事業	<ul style="list-style-type: none"> 主力の発電所市場はエネルギー政策によって対象施設や市場規模が大きく変化する 	<ul style="list-style-type: none"> 実績ある火力・原子力発電施設対応に加え、業界動向に即応して各関連施設に参入出来る準備を進める

【「23中計」の位置付け】：「事業基盤整備の期間」として変更なし

- 港湾事業を中心とした堅実な業績確保
- 中計期間後に新規事業が成長ドライバーとして収益貢献するための基盤形成
- 業務効率化によりコストを削減し、体質を強化
- 投下資本を効率的に運用し、健全な財務状況を維持
- 配当性向は現状方針の70%を継続

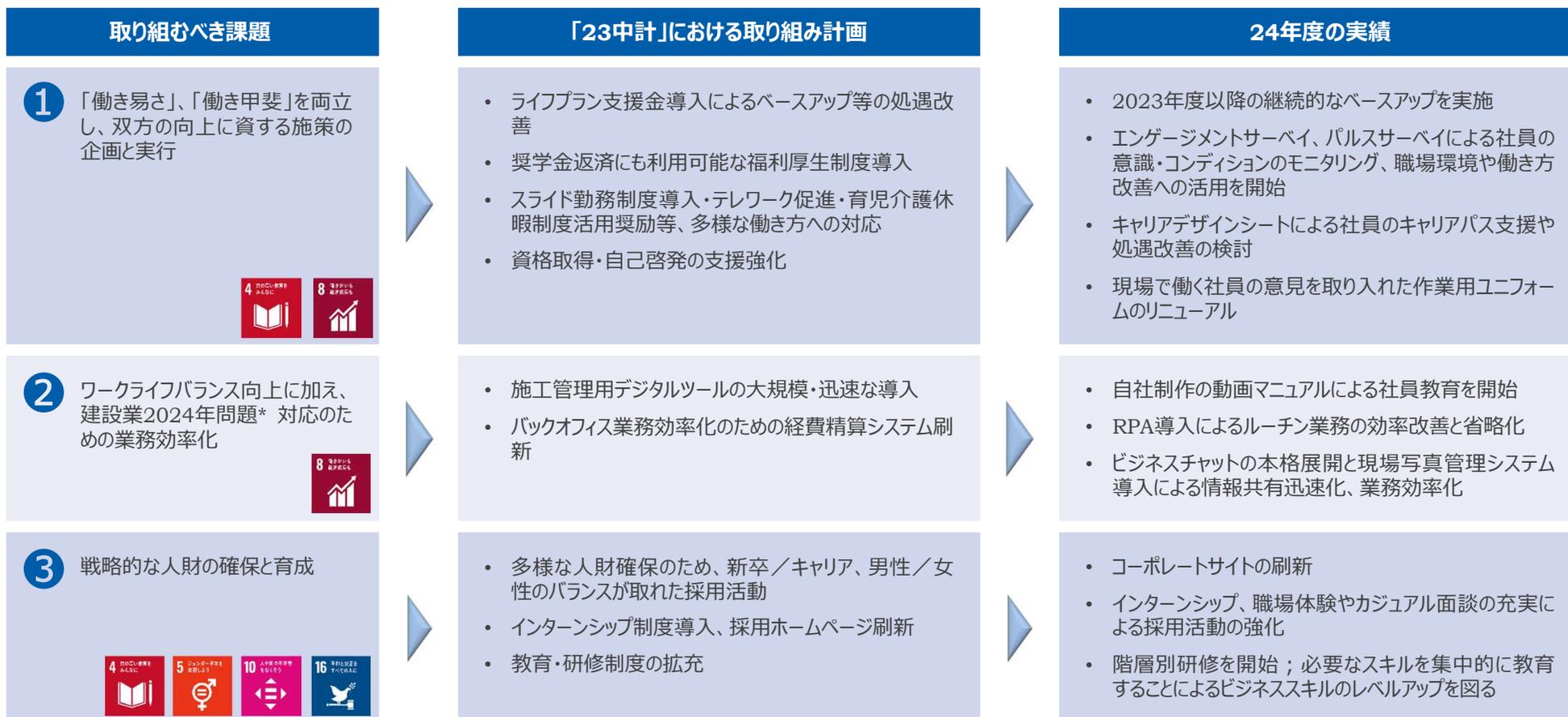
【今後の見通し】



ESGの取り組み① 「内部ステークホルダーのエンゲージメント向上」



- 協力会社様を含めたエンゲージメント向上を重要な経営課題と位置付け、「働き易さ」と「働き甲斐」双方の向上に向けた、処遇改善を含む施策を企画・実行しております。
- 2024年度は、社員サーベイの実施による課題抽出と改善に注力し、「働き易さ」と「働き甲斐」の向上を図りました。
- DXの推進については、現場に即した改善を意識し実行を図りました。今後も具体的な方策を企画・実行してまいります。

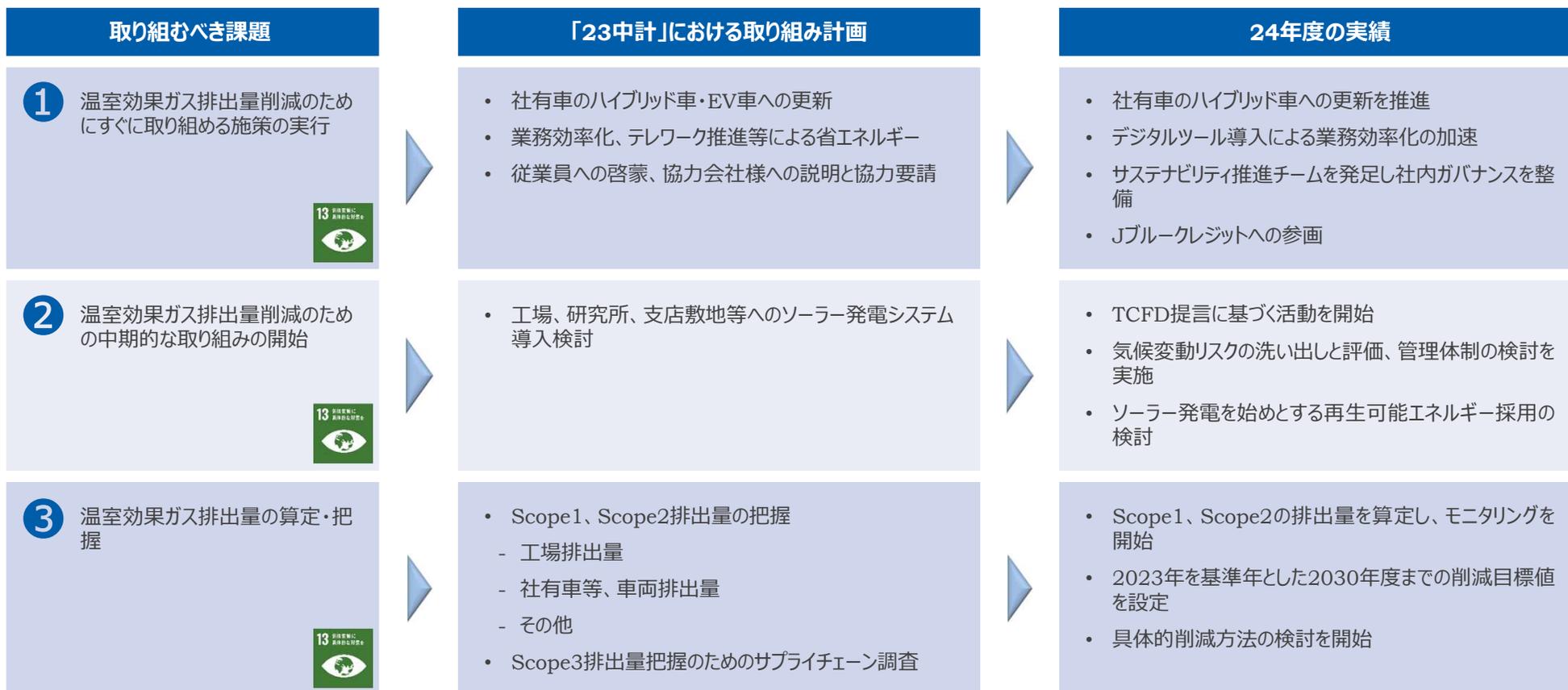


* 建設業2024年問題：「働き方改革関連法」が2024年4月より建設業に適用されることに伴って解決すべき諸問題。

ESGの取り組み② 「気候変動リスクへの対応」



- 地球温暖化や異常気象など気候変動に起因する様々なリスクに対し、責任ある企業活動を行うべく、具体的な取り組みを開始いたしました。
- 2024年度は、サステナビリティ推進チームを発足し、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に基づく活動を実践しました。
- 社有車のハイブリッド車への更新を進める一方、温室効果ガス排出量の把握と、排出量削減の目標設定・具体策構築の取り組みを開始しました。



(ご参考) ESGの取り組み事例紹介

コーポレートサイトの刷新

お取引先様・協力会社様をはじめ、防食技術にご興味をお持ちの方、就職活動中の方など、幅広い皆様に使いやすいと感じていただけるよう、ウェブサイト全体の構成とデザインを刷新し、より見やすく、必要な情報に簡単にアクセスしていただける環境を整えました。

<https://www.nakabohtec.co.jp/>



「みなとSDGsパートナー」に登録

国土交通省によって創設された「みなとSDGsパートナー」制度に登録されました。今後も港湾に関わる一員として、港湾関係産業の魅力向上と持続的な発展に取り組んでまいります。



作業用ユニフォームのリニューアル

「23中計」で掲げた「内部ステークホルダーのエンゲージメント向上」の実現に向けた施策の一環として、現場で働く社員の意見を取り入れ、作業用ユニフォームを機能性と着心地の良さを兼ね備えたものに一新いたしました。



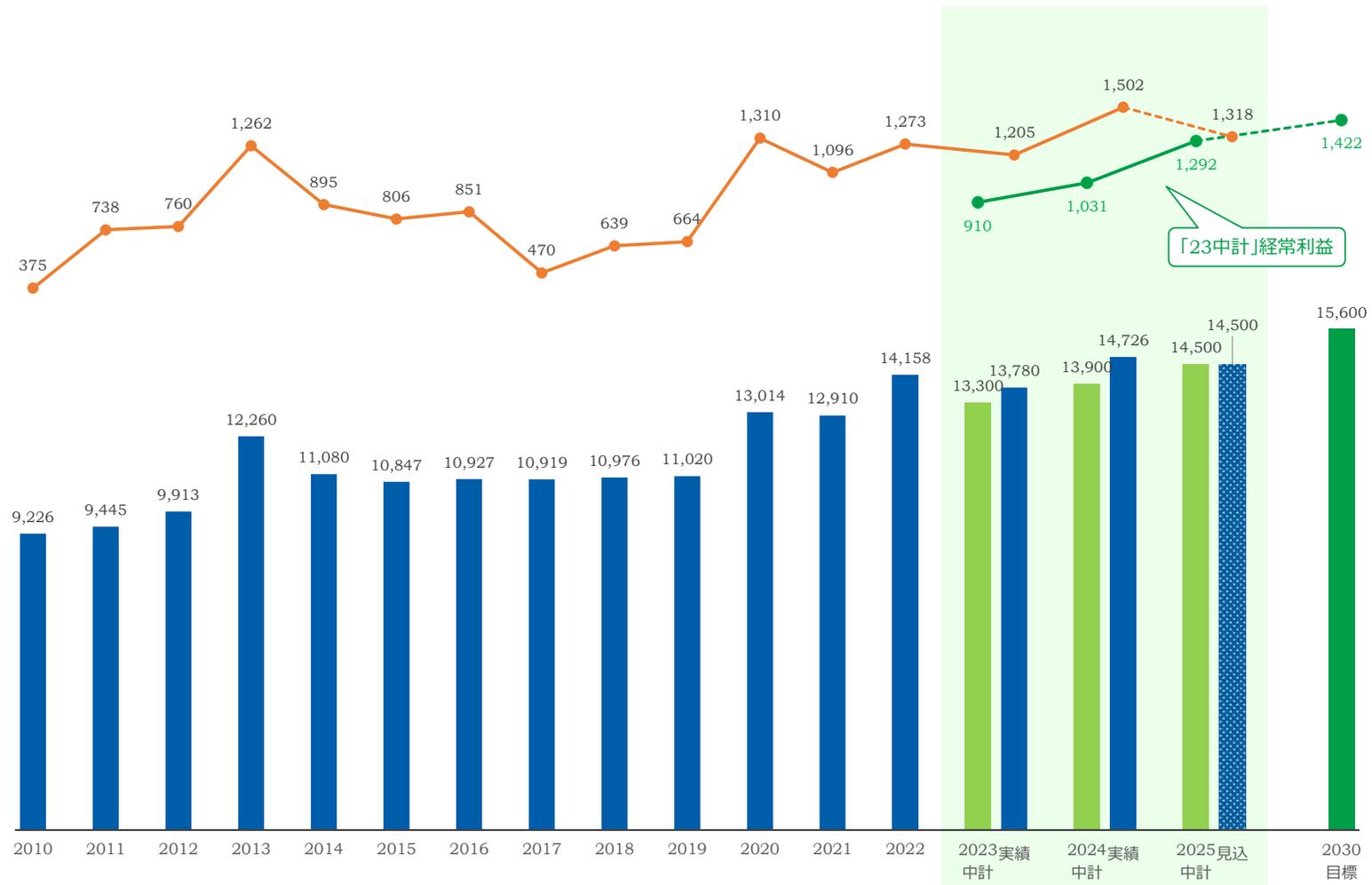
地下鉄の吊り革に広告を掲載

当社を知っていただき、親しみを感じていただくために、都営地下鉄・名古屋市営地下鉄・Osaka Metroの車両の吊り革に当社広告を掲載いたしました。



(ご参考) 2010年度以降の業績推移

経常利益



「23中計」経常利益

「23中計」期間

売上高



いまある
“価値”を
次代へ!